

レクサスLX 車種別注意事項

●駐車中の車高について

本製品で車高を上げた状態でイグニッションスイッチをOFFにすると、車両の状態によりノーマル車高に戻る場合があります。これは車両側車高制御上の正常な動作であり、故障ではありませんので予めご了承ください。本製品で下げた車高はイグニッションスイッチをOFFにしても維持されます。

●車高変更の動作について

いずれかのドアを開けていると車高は変化しません。車高を変更する際は、必ず全てのドアを閉じてからおこなってください。

●車高メモリー切り替え時の動作について

車高メモリーを切り替える(NORMAL↔H1↔H2)と車両側ハイトコントロールインジケータの表示がN→H1→Nと変化しますが、これは本製品の制御上の動作で故障や異常ではありません。

●L4 切り替え時の制御について

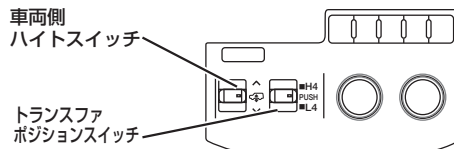
本製品にて車高を変化させている状態でトランスファポジションスイッチを「L4」に切り替えると、「L4」選択中は本製品での車高制御を一時的に中断してノーマル制御に戻します。この動作中は本体表示が「no」の点滅表示およびiPhoneの表示はノーマル制御となります。

※L4+速度3km/h以上で車両側が自動的に車高を約50mm上げるため、本製品の車高制御と重複する事によるトラブルを防ぐための処理です。

●ハイトスイッチとの併用不可

ノーマル制御(N)以外の車高メモリー(1または2)選択中は、車高設定値に関係なくハイトスイッチ操作(HI側・LO側共)をおこなうと、本体に下図の警告画面を表示すると共に車両側モード表示ランプが自動的に「N」に戻ります。本製品による車高設定と車両側ハイトスイッチとの併用はできません。

※ノーマル制御(N)選択中は車両側ハイトスイッチが使用できません。



ASR682 本体警告画面表示



●高速走行時の制御について

純正の機能により高速走行(速度110km/h以上)時に約20mm車高が下がります。本製品で車高を下げた状態でもこの純正機能は働きますので、本製品で設定した車高よりも更に下がる可能性があります。よって走行する際は必ず車高メモリーをノーマル制御(N)に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。

ノーマル制御(N)以外の車高メモリー(1 または2)を選択している場合、純正機能による車高の下がりすぎを極力抑える為、本製品により速度100km/h 以上で車高を約20mm上昇させます*。また、この制御は速度70km/h以下になるまで持続し、その後設定した車高に戻ります。但し、この制御によって100%の安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がる場合もあります。よって走行する際は必ず車高メモリーをノーマル制御(N)に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。

※ノーマル車高よりも下げている場合にこの制御が作動しますが、この制御によって車高がノーマルよりも上昇することはありません。また、ノーマル車高以上に車高を上げた設定にしている場合、この制御は作動しません。

●本体設定時の車種設定値

本体で設定した場合のレクサスLXの車種設定値は「-8F」になります。

車種設定は「-8F」です。



ASR682本体の表示